

# 資料編 参考データ・用語集

---

- 1 北九州市民スポーツ実態調査
- 2 全国体力・運動能力、運動習慣等調査
- 3 市内スポーツ施設情報
- 4 北九州市スポーツ推進計画策定過程
  - (1) 策定の過程
  - (2) 北九州市スポーツ推進計画策定検討会委員
- 5 用語集

## 1 北九州市民スポーツ実態調査

---

### (1) 調査の概要

#### ●調査の目的

北九州市民のスポーツの実施状況等の実態を把握し、スポーツ振興施策について検討する際の基礎資料とすること。

#### ●調査設計

- (1) 調査地域 北九州市全域
- (2) 調査対象 市内に居住する満18歳以上(令和5(2023)年1月1日現在)の男女
- (3) 標本数 3,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送・Webによるアンケート調査

#### ●調査時期

令和5(2023)年2月から3月までの期間に実施

#### ●回収状況

- (1) 標本数 3,000票
- (2) 回収数 1,016票
- (3) 回収率 33.8%

#### ●調査結果の留意事項

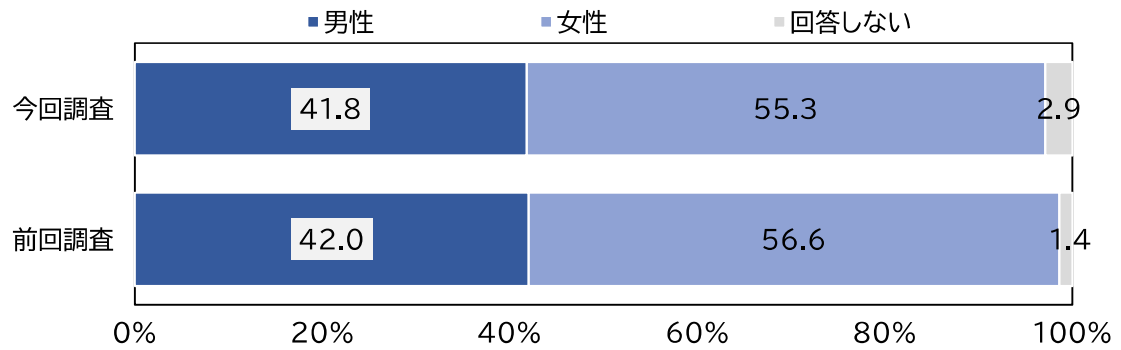
- 回答比率は、小数点第2位を四捨五入しており、合計が100%にならない場合があります。
- 2つ以上の回答を求めた(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は原則として100%を超えます。
- 前回調査の数値等については、令和元(2019)年9月に実施した「令和元年度北九州市民スポーツ実態調査」の結果です。

## (2) 調査結果

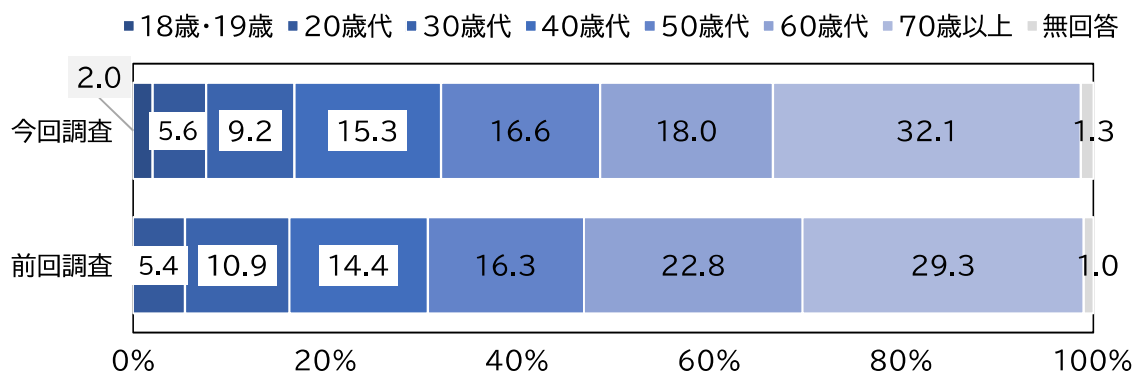
### ●回答者の属性

本調査の回答者(1,016人、回収率 33.8%)の属性は以下の通りです。

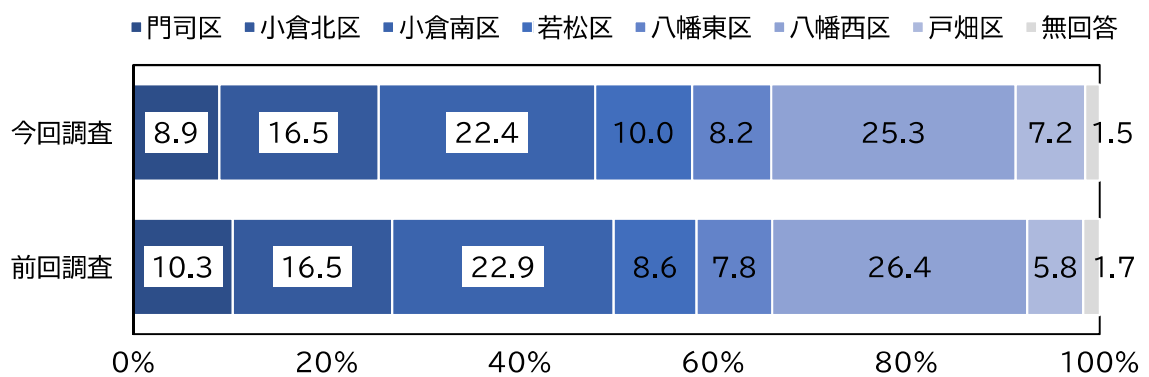
#### ■性別



#### ■年齢



#### ■居住地



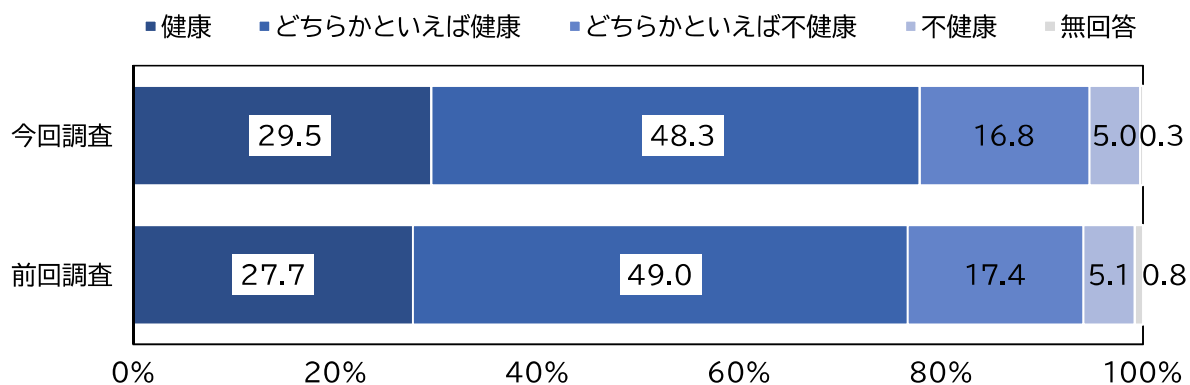
## 問1 健康状態

### 【 全体の特徴 】

健康状態の認識については、「健康」が29.5%、「どちらかといえば健康」が48.3%、合計した健康率は77.8%と、健康に感じている割合が8割近くになっています。

### 【 前回調査との比較 】

前回調査と比較すると、「健康」は1.8ポイント増加に対して、「どちらかといえば健康」は0.7ポイント減少しましたが、「健康」と「どちらかといえば健康」を合計した健康率は、前回の76.7%に対して77.8%と、1.1ポイント増加しました。



## 問2 1年間に行った運動・スポーツの頻度

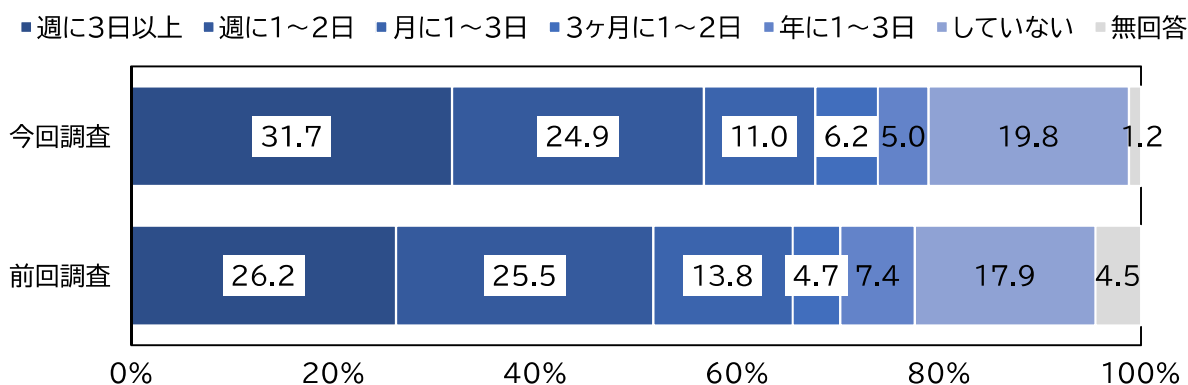
### 【 全体の特徴 】

1年間に行った運動・スポーツの頻度については、「週に3日以上」が 31.7%、次いで「週に1～2日」が 24.9%、「していない」が 19.8%となっています。

週に1日以上運動・スポーツを行っている割合は、「週に3日以上」と「週に1～2日」を合計して 56.6%となっています。

### 【 前回調査との比較 】

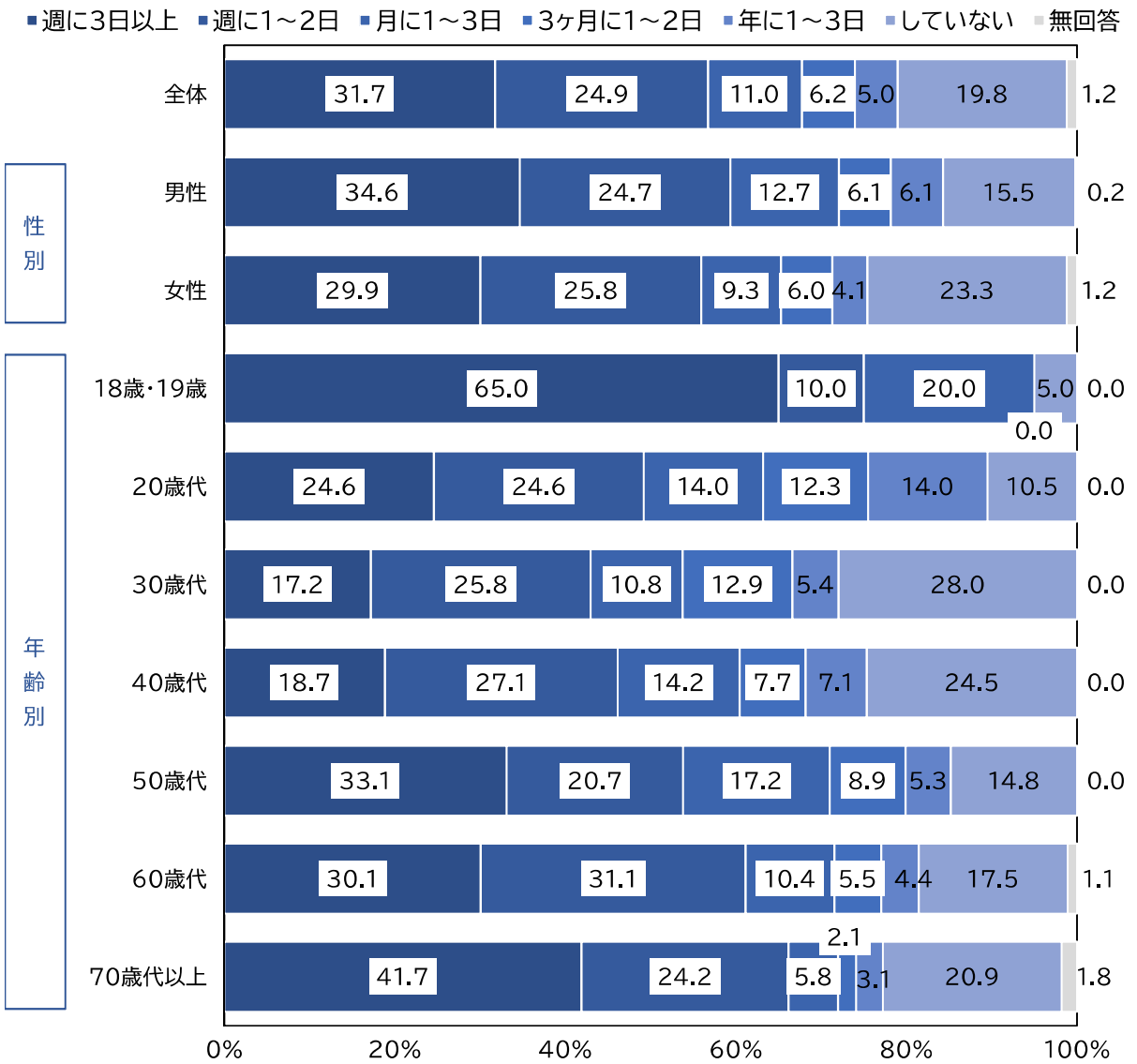
前回調査と比較すると、「週に3日以上」は5.5ポイント増加に対して、「週に1～2日」は0.6ポイント減少していますが、週に1日以上運動・スポーツを行っている割合は、前回の51.7%に対して 56.6%と、4.9ポイント増加しています。



### 【 属性別にみた特徴 】

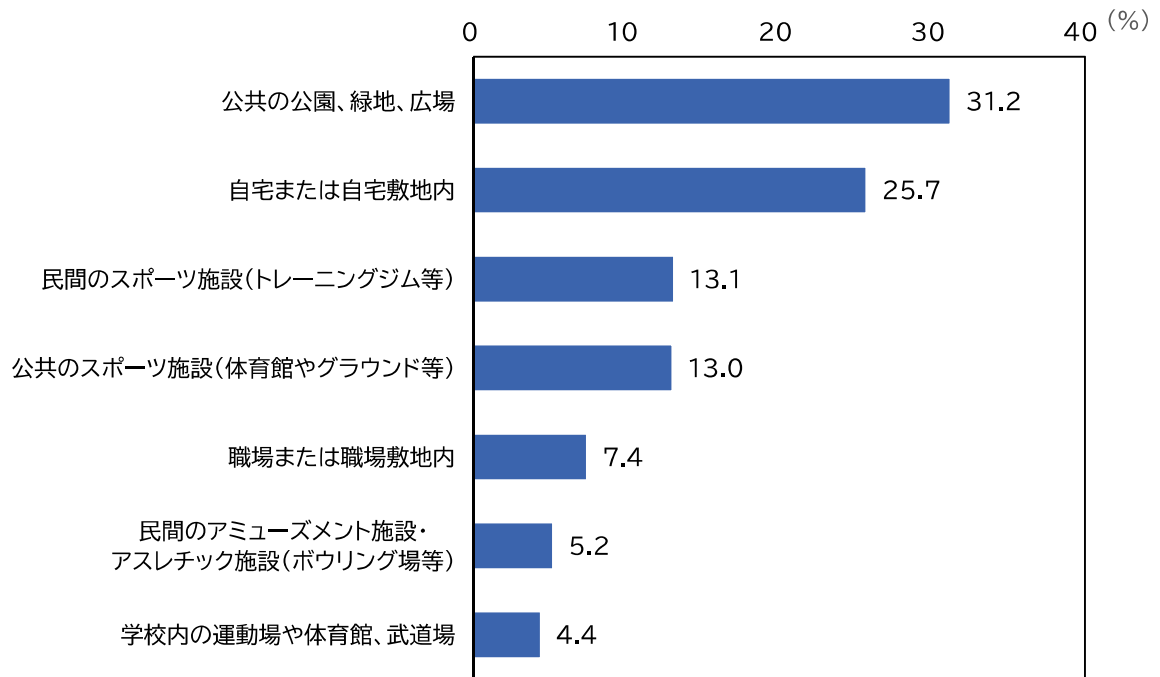
性別にみると、男女ともに「週に3日以上」が最も多く、男性で 34.6%、女性で 29.9%となっています。週に1日以上運動・スポーツを行っている割合は、男性で 59.3%、女性で 55.7%となっており、いずれも、男性より女性の方が低くなっています。

年齢別にみると、週に1日以上運動・スポーツを行っている割合は、18・19歳で 75.0%と最も高く、次いで70歳代以上で 65.9%、60歳代で 61.2%となっています。一方、20代では 49.2%、30代・40代ではそれぞれ 43.0%・45.8%となっており、他の世代と比べ、若者世代や働き世代で割合がより低くなっています。



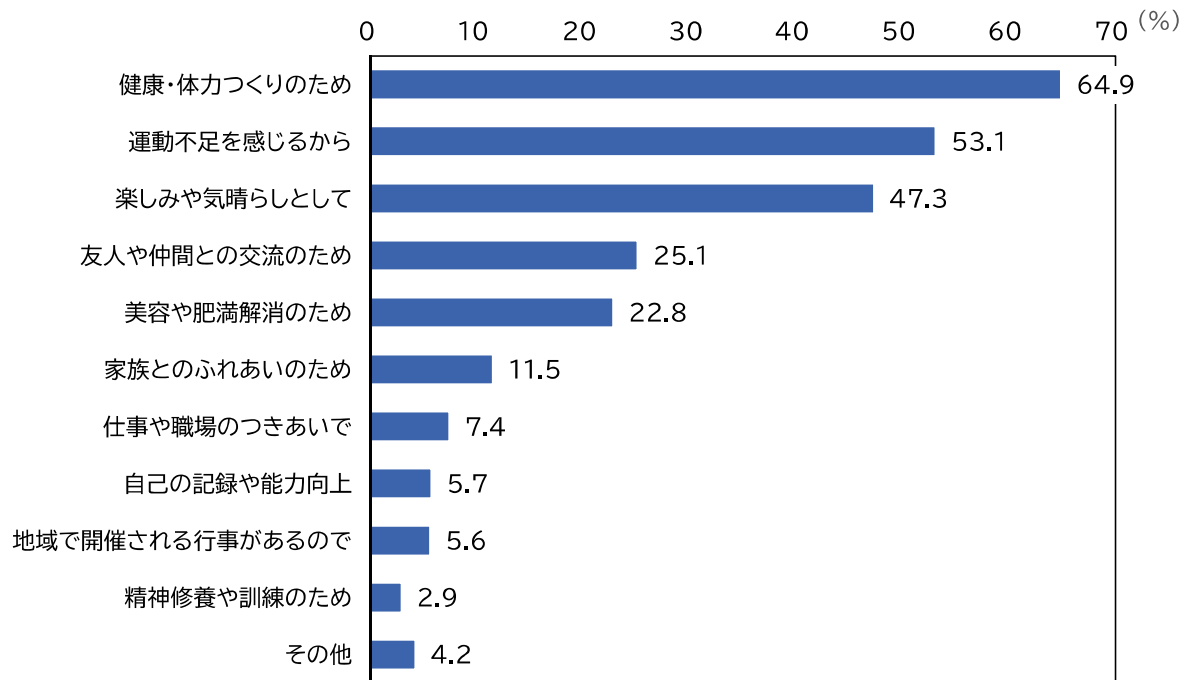
### 問3 運動・スポーツを行った場所

運動・スポーツを行った場所については、「公共の公園、緑地、広場」が 31.2%と最も多く、次いで「自宅または自宅敷地内」が 25.7%、「民間のスポーツ施設」が 13.1%となっています。



#### 問4 運動・スポーツを行った理由(複数回答)

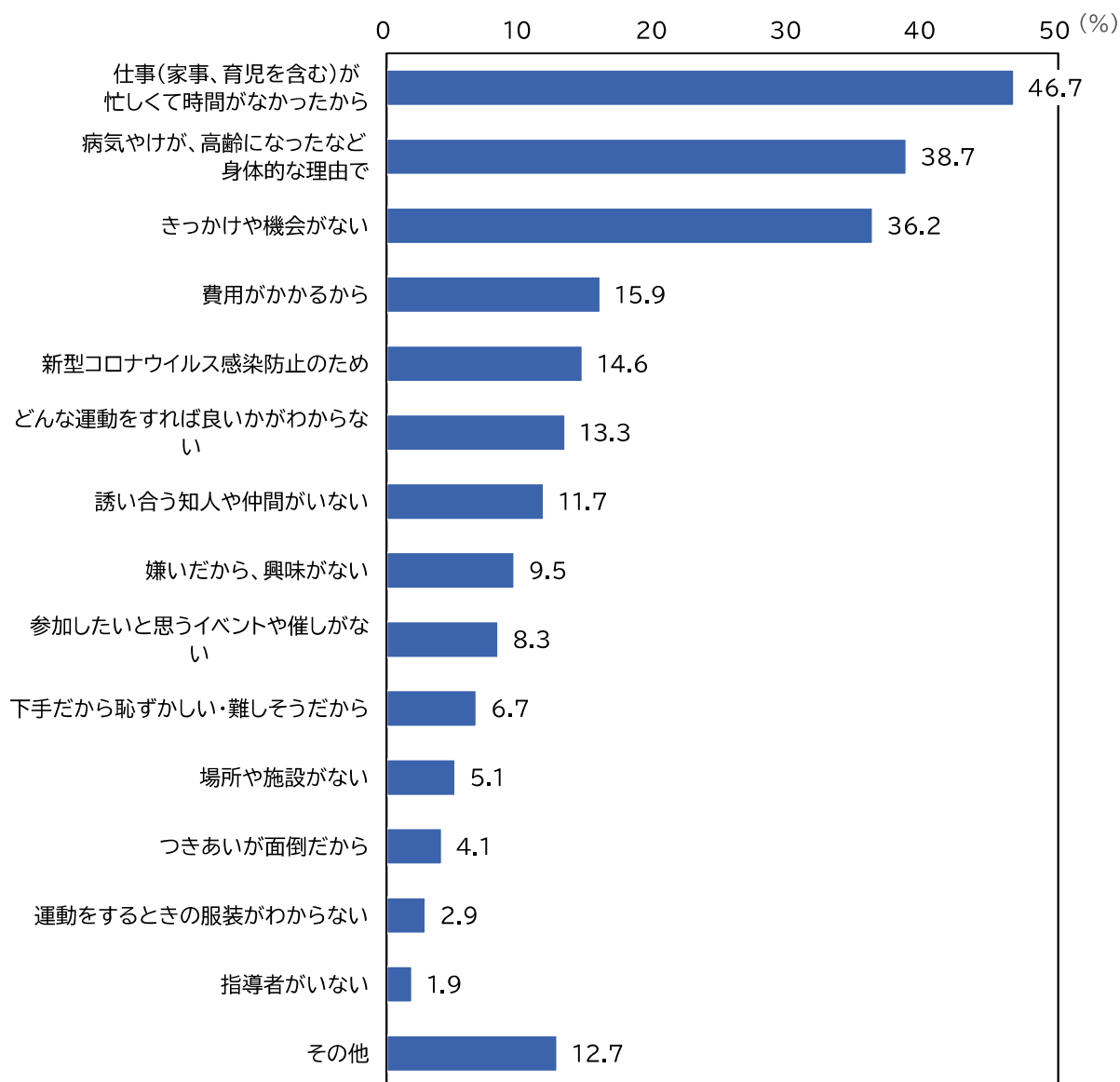
運動・スポーツを行った理由については、「健康・体力づくりのため」が64.9%で最も多く、次いで「運動不足を感じるから」が53.1%、「楽しみや気晴らしとして」が47.3%となっています。





## 問5 運動・スポーツを行わなかった理由(複数回答)

運動・スポーツを行わなかった理由については、「仕事(家事、育児を含む)が忙しくて時間がなかったから」が46.7%と最も多く、次いで「病気やけが、高齢になったなど身体的な理由で」が38.7%、「きっかけや機会がない」が36.2%となっています。



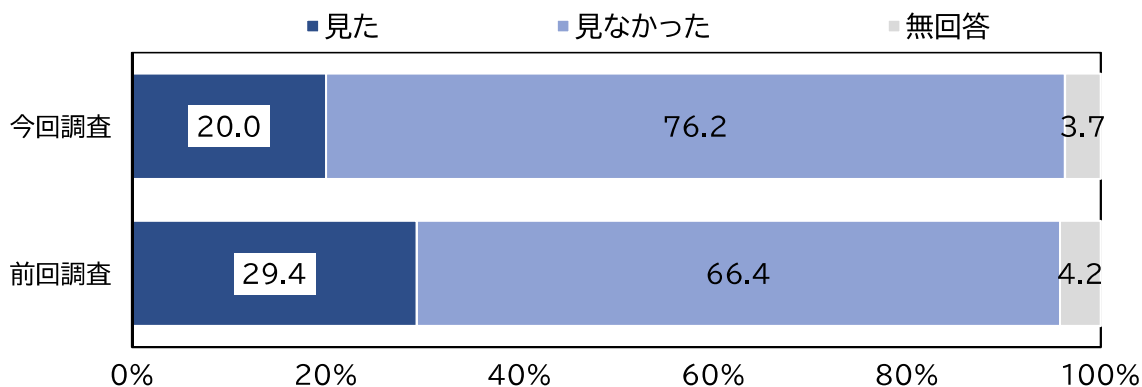
## 問6 競技会場でスポーツの試合を観戦したか

### 【 全体の特徴 】

1年間の競技会場でのスポーツ観戦については、「見た」が 20.0%、「見なかった」が 76.2%となっています。

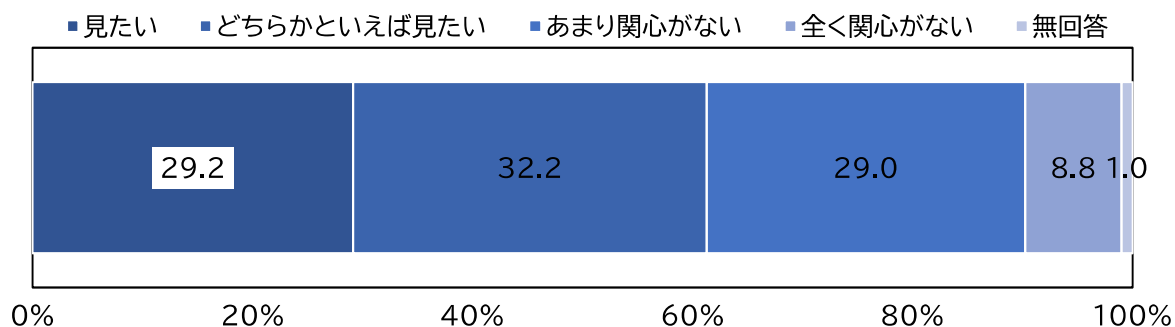
### 【 前回調査との比較 】

前回調査と比較すると、「見た」が前回調査より 9.4 ポイント減少、「見なかった」が 9.8 ポイント増加となっています。



## 問7 実際に競技場でスポーツの試合を見たいか

スポーツ観戦の意向については、「どちらかといえば見たい」が 32.2%、次いで「見たい」が 29.2%となっており、合計した観戦に興味がある人は 61.4%となっています。



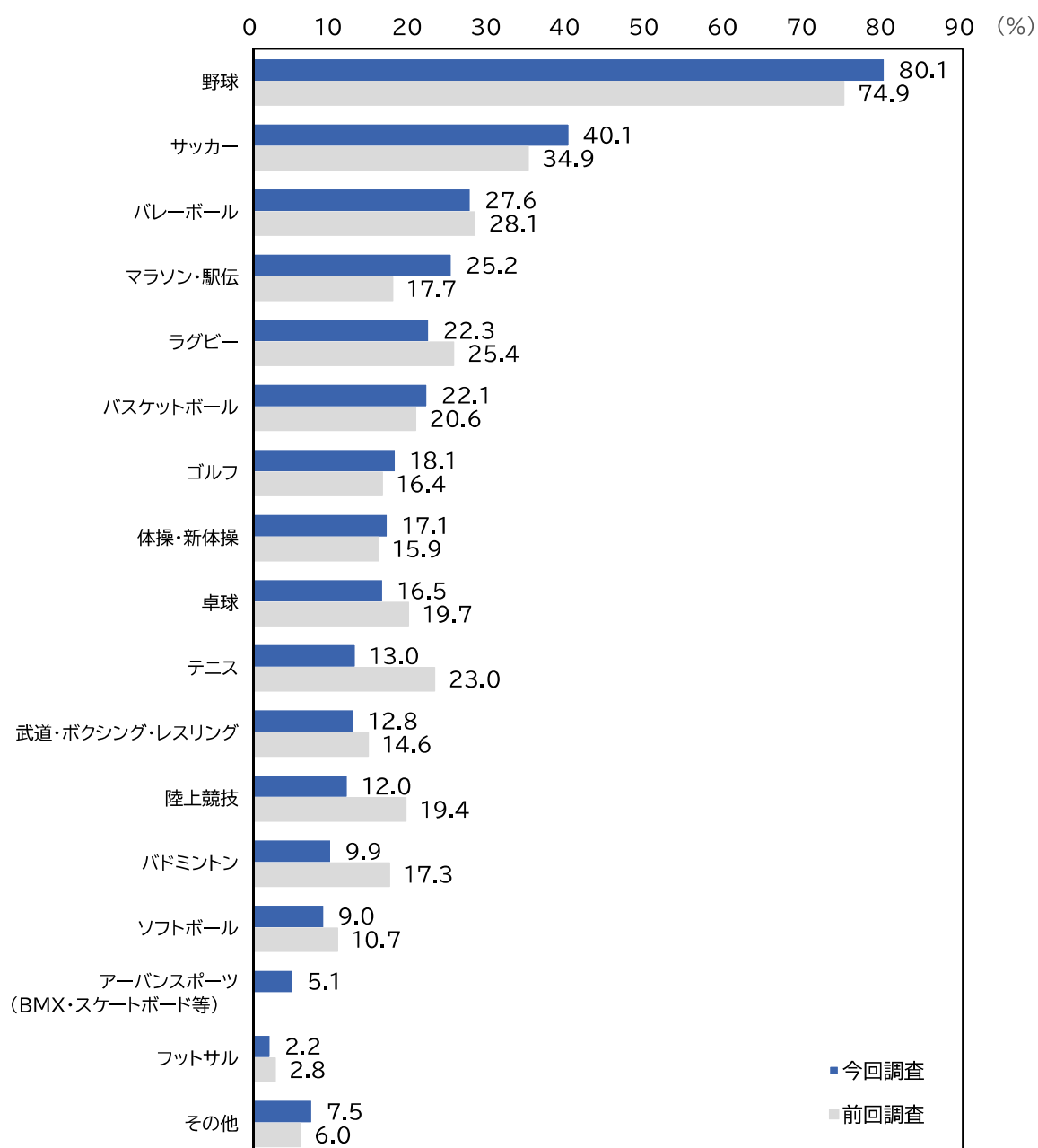
## 問8 観戦したいスポーツ競技(複数回答)

### 【 全体の特徴 】

観戦したいスポーツについては、「野球」が 80.1%と最も多く、次いで「サッカー」が 40.1%、「バレーボール」が 27.6%となっています。

### 【 前回調査との比較 】 ※比較可能なスポーツ競技種のみ掲載

前回調査と比較すると、上位3位は前回調査と変わりませんが、「野球」「サッカー」とともに、5.2ポイント増加しています。



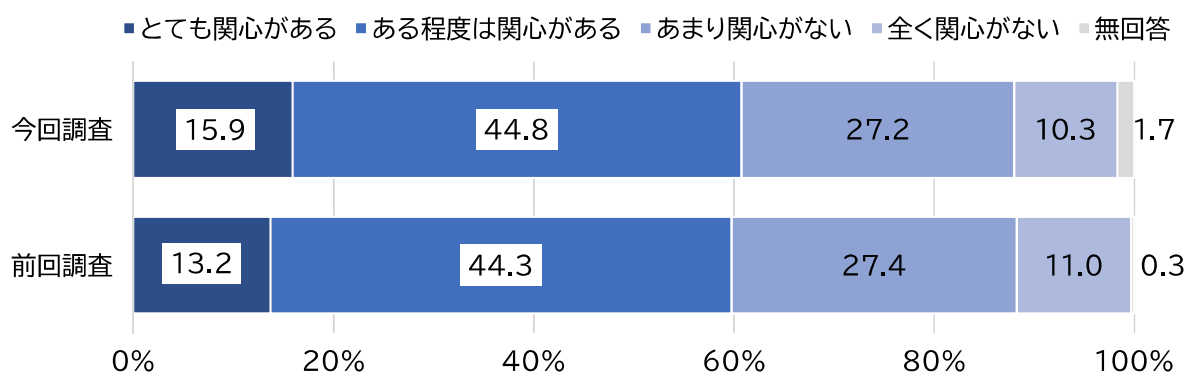
## 問9 市内で大規模な国際スポーツ大会・全国大会が開催されることに関心があるか

### 【 全体の特徴 】

国際大会・全国大会への関心については、「ある程度は関心がある」が44.8%と最も多く、次いで「あまり関心がない」が27.2%となっています。

### 【 前回調査との比較 】

前回調査と比較すると、大きな違いはありませんが、「とても関心がある」が2.7ポイント増加しています。



## 2 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

### (1) 調査の概要

#### ●調査内容

市内公立学校における児童・生徒に対する実技に関する調査(小学校8種目・中学校9種目)

※中学校については、20m シャトルランまたは持久走のどちらかを選択

#### ●実施学年

小学校第5学年／特別支援学校小学部第5学年

中学校第2学年／特別支援学校中学部第2学年

#### ●調査実施期間(実技に関する調査)

令和5(2023)年5月から7月までの期間に実施

#### ●結果の概況(実技に関する調査)

小学校	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 体力合計点では、男女ともに全国平均を上回りました。</li><li>✓ 令和4(2022)年度調査との比較では、女子の50m 走を除く、全ての測定項目で点数が向上しました。</li><li>✓ 男女共に、8種目全てにおいて、全国平均と同等以上でした。</li></ul>
中学校	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 体力合計点では、男女ともに全国平均を上回りました。</li><li>✓ 令和4(2022)年度調査との比較では、男子では6種目、女子では7種目で点数が向上しました。</li><li>✓ 男子では、持久走を除く8種目で全国平均を上回りました。 ※持久走(男子 1,500m／女子 1,000m)は 20m シャトルランとの選択</li><li>✓ 女子では、持久走、ソフトボール投げを除く7種目で全国平均を上回りました。</li></ul>

## (2) 調査結果

### ●小学校5年生

男子		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20m シャトルラン (回)	50m 走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボ ール投げ (m)	体力 合計点 (点)
令和5年度	本市	16.30	19.17	34.49	40.75	49.29	9.48	152.47	21.39	53.38
(今回)	全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
令和4年度	本市	16.29	18.72	34.05	39.47	46.86	9.51	151.13	21.34	52.55
令和4年度との比較		向上	向上	向上	向上	向上	向上	向上	向上	向上

女子		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20m シャトルラン (回)	50m 走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボ ール投げ (m)	体力 合計点 (点)
令和5年度	本市	16.35	18.36	38.88	38.78	39.26	9.70	145.97	13.51	55.18
(今回)	全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28
令和4年度	本市	16.24	17.46	38.12	37.90	38.13	9.69	144.81	13.31	54.12
令和4年度との比較		向上	向上	向上	向上	向上	低下	向上	向上	向上

### ●中学校2年生

男子		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体 前屈 (cm)	反復横とび (点)	持久走 (秒)	20m シャトルラン (回)	50m 走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボ ール投げ (m)	体力 合計点 (点)
令和5年度	本市	29.72	26.24	46.29	51.95	413.28	80.12	7.86	201.52	20.51	43.46
(今回)	全国	29.02	25.82	44.16	51.22	409.02	78.07	8.01	197.02	20.40	41.32
令和4年度	本市	29.89	26.05	45.62	51.43	411.48	79.38	7.98	200.49	20.64	42.89
令和4年度との比較		低下	向上	向上	向上	低下	向上	向上	向上	低下	向上

女子		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体 前屈 (cm)	反復横とび (点)	持久走 (秒)	20m シャトルラン (回)	50m 走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボ ール投げ (m)	体力 合計点 (点)
令和5年度	本市	23.64	22.08	47.52	46.35	320.97	51.41	8.86	170.70	12.13	48.65
(今回)	全国	23.15	21.62	46.27	45.65	306.26	50.70	8.95	166.34	12.43	47.22
令和4年度	本市	23.48	21.58	47.11	45.64	303.38	50.85	8.95	169.09	12.41	48.27
令和4年度との比較		向上	向上	向上	向上	低下	向上	向上	向上	低下	向上

※表中の網掛けは、またはは、全国平均値と比較して同等以上の項目

# スポーツ施設分布図

施設分布図は  
差し替え予定



## 4 北九州市スポーツ推進計画策定過程

### (1) 策定の過程

本計画の策定においては、以下の通り、「北九州市スポーツ推進計画策定検討会」における審議のほか、大学生を対象としたスポーツ推進に関する意見聴取、及び、市民に対するパブリックコメントを実施し、それらの意見を踏まえて策定しました。

時期	内容
令和6年6月	大学生を対象としたスポーツ推進に関する意見聴取
令和6年7月	第1回北九州市スポーツ推進計画策定検討会 「北九州市スポーツ推進計画」の骨子案について
令和6年8月	第2回北九州市スポーツ推進計画策定検討会 「北九州市スポーツ推進計画」の素案について
令和6年9月	教育委員会会議 「北九州市スポーツ推進計画」の素案について
令和6年10月 ～ 令和6年11月	パブリックコメント実施
令和6年〇月	第3回北九州市スポーツ推進計画策定検討会 「北九州市スポーツ推進計画」の最終案について
令和7年〇月	北九州市スポーツ推進計画策定
令和7年〇月	北九州市スポーツ推進計画の公表



## (2) 北九州市スポーツ推進計画策定検討会委員

氏名 (◎:座長)	所属団体等
ありのぶ ただよし 有延 忠剛	北九州市障害者スポーツセンター所長
いけもと ともき 池元 友樹	北九州市スポーツ大使
かじやま みきこ 梶山 幹子	北九州市小学校体育連盟
くらさき のぶこ 倉崎 信子	九州栄養福祉大学教授
ひさずみ よしひろ 久澄 喜裕	公益財団法人北九州市スポーツ協会事務局長
はなうち まこと 花内 誠	九州産業大学教授
ふなつ きょうたろう ◎ 船津 京太郎	九州共立大学教授
まつざき じゅん 松崎 淳	九州共立大学講師

(敬称略・五十音順)

## 5 用語集

用語	解説
<b>【あ】</b>	
アーバンスポーツ	速さや高さを極限まで追求し、過激で華麗な離れ業を競い合うスポーツ（「エクストリームスポーツ」）のうち、都市での開催が可能なもの。音楽、ファッションなど遊び感覚の高い若者文化と融合したものとして、従来のスポーツの枠を超えた領域に展開するもの。「ストリートスポーツ」とも呼ばれる。
インクルーシブスポーツ	障害の有無、年齢、性別、国籍等に関わらず、誰もが楽しめる、包摂性のある(Inclusive な)スポーツ。
ウェルビーイング	身体的な健康だけでなく、精神的・社会的に良好な状態。
エコフレンドリー	製品やサービス、行動が環境に与える負荷を最小限に抑えること。
SNS	Social Networking Service(s)の略称。友人や知人とつながり、文書や写真、動画などを通じて自ら情報発信や自己表現をしたり、コミュニケーションしたりするサービスの通称。
SDGs (持続可能な開発目標)	Sustainable Development Goals の略称。貧困、不平等・格差、気候変動による影響など、世界のさまざまな問題を根本的に解決し、すべての人たちにとってより良い世界をつくるために国際連合(United Nations)が設定した、世界共通の17の目標。
オープンスペース	公園、歩行空間、広場等の壁や仕切りが少ない開放的な空間のこと。
<b>【か】</b>	
北九州市公共施設マネジメント	市民の財産である公共施設を再構築する中で、将来における財政負担を軽減するとともに、将来のニーズを見据えて時代に適合したものとするための取組。
北九州市市政変革推進プラン	北九州市が次世代への投資を行いながら、行財政運営のあり方を再構築するためのプラン。
健康寿命	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のこと。
共生社会	障害の有無や年齢、性別、国籍等を問わず誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様なあり方を相互に認め合える全員参加型の社会。
交流人口	通勤・通学、買い物、文化鑑賞・創造、学習、習い事、スポーツ、観光、レジャー等の理由で、その地域を訪れる人々のこと。
<b>【さ】</b>	
シビックプライド	自らが構成員としての自覚をもち、より良いまちにしていこうとする自負心や当事者意識を含んだ、ある地域や都市に対する誇りや愛着のこと。

用語	解説
省エネ・創エネ	省エネ:エネルギーを効率的に使用し、無駄を減らすこと。 創エネ:主に再生可能エネルギーを利用する方法。
スポーツ基本法	国のスポーツ推進のための基本的な法律として、競技水準の向上と地域スポーツの推進の好循環を通じ、「スポーツ立国」の実現を目的とした法律。平成23(2011)年制定。
スポーツ基本計画	「スポーツ基本法」の理念を具体化し、今後の国のスポーツ政策の方向性を見据えた、国のスポーツ行政の施策や目標を定めた5カ年計画。令和4(2022)年3月に第3期スポーツ基本計画策定。
スポーツツーリズム	地域のスポーツ資源とツーリズムを融合する取組。既存のスポーツ資源のほかにも、地域資源がスポーツの力で観光資源となる可能性も秘めている。
スポーツレガシー	スポーツイベントや大会が都市や住民などに与える影響や資産のこと。
生活習慣病	糖尿病・高血圧症などの生活習慣が発症原因に関与していると考えられている疾患の総称。
総合型地域スポーツクラブ	地域住民が自主的に運営する、多世代・多種目のスポーツクラブ。
【は】	
パルクール	フランスで生まれたスポーツ。街中や自然の中で走ったり、飛んだり登ったりして、障害物を越えながら移動するスポーツ。
部活動の地域移行	学校が主体となっている部活動を地域クラブ活動に移行する取組。
ブレイキン	ストリートダンスの一種で、音楽に合わせてダンスするスポーツ。令和6(2024)年のパリオリンピックで正式種目に採用された。
フレキシブル(Flexible)	制度や規則などが社会情勢等の変化に合わせた柔軟性を持つこと。
【や】	
ユニバーサルデザイン	障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境(例:施設等)をデザインする考え方。
【ら】	
ライフステージ	幼児期・児童期・青年期・壮年期・老年期など、それぞれの年代にともなって変化する生活段階のこと。
レクリエーション	心身の緊張や疲れを癒すために、娯楽を楽しむ活動のこと。

## 北九州市スポーツ推進計画

---

発行年月日 令和 年 月

編集・発行 北九州市（都市ブランド創造局スポーツ部スポーツ振興課）

連絡先 〒803-0851 北九州市小倉北区城内1番1号

TEL 093-582-2395

FAX 093-582-2677